

70の法則

2%のインフレ → 物価が2倍になるまで $70/2 = 35$ 年 かかる。

国民1人当たりの実質 GDP 成長が年率5%

→ 生活水準(国民1人当たりの実質 GDP)が2倍になるまで $70/5 = 14$ 年 かかる。

ほとんどの経済学者は、年率 2-3%のインフレを目指すのが最良と考える

- ① 粘着賃金の影響による失業に対応しやすい
- ② たった1%でも賃上げがあれば、インフレ率3%でも、労働者は文句を言わない

デフレが経済を圧迫する理由 → 負債の実質負担を増やすこと

経済学が1929年の大恐慌(デフレ)から学んだこと

- ① お金の供給をしぼっては、いけない
- ② 財政均衡を目指してはいけない
- ③ 「経済成長優先を見直す」と、言うてはいけない

豊かな国の政府が自国農民に出す補助金は、GDP の 1%

開発援助(ODA)に出すお金は、GDP の 0.25%

→ 貧乏な国を助けたければ、その国の製品を買いやすくする。 最高の援助は、「貿易」!

似た国どうしの間の貿易でも利益が出る

: 日本人は ホンダ RA272 を作る、ドイツ人は BMW M3 を作る、アメリカ人は Shelby Cobra 427 を作る。
貿易すれば、どちらにも利益がでる (Paul Krugman's New Trade Theory)

「不可能な三角形」

「通貨の自由な取引」+「独立した金融政策」+「固定為替レート」

3つとも実現できればこの上ないが、これは 不可能な三角形・・・。

なぜなら、このうち 2つしか同時に実現できないから。

中国 → 通貨の自由な取引を制限

アメリカ合衆国 → 為替レートの変動を認めている

エクアドル → 金融政策をあきらめている (2000年 自国通貨を完全に廃止して 米ドルを通貨にした)

エクアドルの狙いは安定性の確保 (その代償として、通貨の独立性を失った)

社会保障 = 「バケツリレー」 : 今日の労働者の支払い分を、今日の高齢者が使う

経済が崩壊せずに成長するには どうするか

(短期的な安全確保 + 長期的な生活水準の向上) → マクロ経済学における 聖杯探求!